

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: 親水ワセリン
化学品の英語名称	: HYDROPHILIC PETROLATUM
供給者の会社名称	: 日興製薬株式会社
住所	: 岐阜県羽島市上中町一色467-1
電話番号	: 058-398-2576 信頼性保証部
ファクシミリ番号	: 058-398-5863
推奨用途	: 軟膏基剤として調剤に用いる。また、皮膚保護剤として用いる。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	: 分類基準に該当しない
GHSラベル要素	
絵表示	: なし
注意喚起語	: なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
慣用名又は別名	: 日本薬局方 親水ワセリン
成分及び濃度又は濃度範囲	

混合物の成分 (化学名又は一般名)	濃度 (w/w%)	官報公示整理番号	CAS番号
白色ワセリン	86	(9)-1692(化審法)	8009-03-8
サラシミツロウ	8.0	(8)-429(化審法) (8)-429(安衛法)	8012-89-3
ステアリルアルコール	3.0	(2)-217(化審法) (2)-217(安衛法)	67762-27-0
コレステロール	3.0	(4)-1301(化審法)	57-88-5

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移す。必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 水と石鹸で付着した部分を洗う。
眼に入った場合	: 清潔な水で十分に目を洗浄したのち、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせないで、直ちに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で充分に洗うこと。
急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状	: 情報なし
応急措置をする者の保護	: 情報なし
医師に対する特別な注意事項	: 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	: 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
特有の危険有害性	: 火災時に危険なガスや煙が発生する可能性がある。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を絶つ。 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は、火災を拡大し危険な場合がある。周囲の設備などに散水して冷却する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際には、風上から行き必ず保護具(消火服)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。 ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。
環境に対する注意事項	: 土壌の汚染、水質汚濁に繋がるので、可能な限り回収する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項 : 取扱後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所で使用すること。
環境への放出を避けること。

接触回避

: 炎、火花、または高温体との接触を避ける。みだりに蒸気を発散させないこと。

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所に保管すること。容器を密閉しておくこと。
高温又は直射日光を避け、涼しい場所に保管する

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定

許容濃度

日本産衛学会(2023年度版) : 3mg/m³(鉱油ミスト)

ACGIH(2024年度版) : TWA 5mg/m³(鉱油ミスト)

設備対策

: ミストおよび蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。

保護具

呼吸用保護具 : 通常必要がないが、必要に応じて呼吸用保護具を着用する。

手の保護具 : 長期間または繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。

眼の保護具 : 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 長時間にわたり取扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体(semi-solid)

色 : 白色

臭い : 僅かに特異なおいがある

融点/凝固点 : 約50°C

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : 標準状態で火がつかない

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし(製品)

>230°C(白色ワセリン)

引火点 : データなし(製品)

>93.4°C(Pensky-Martens closed cup)(白色ワセリン)

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 非該当

動粘性率 : 非該当

溶解度 : データなし

等量の水を混和しても、なお軟膏様の稠度を保つ

n-オクタノール/水分配係数 : 非該当

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度 : データなし

相対ガス密度 : 非該当

粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用条件では安定

化学的安定性 : 通常の使用条件では安定

危険有害反応可能性 : 情報なし

避けるべき条件 : 熱、炎、火花

混触危険物質 : 酸化剤と反応する

危険有害な分解生成物 : なし

11. 有害性情報

製品の有害性情報 : 情報なし

成分の有害性情報

白色ワセリン

急性毒性

経口 : ラットのLD50値として、>5,000 mg/kg であり、区分に該当しない。

経皮	: うさぎのLD50値として、>2,000 mg/kg であり、区分に該当しない。
吸入:ガス	: GHSの定義における固体である。
吸入:蒸気	: データ不足のため分類できない。
吸入:粉じん及びミスト	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚への刺激は確認されていない為、区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 眼に対する刺激は確認されていない為、区分に該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: 感作性なし(モルモット)であり、区分に該当しない。
生殖細胞変異原性	: 生殖細胞変異原性物質として分類されない(In vitro)
発がん性	: 非発がん性物質として分類されている(Regulation (EC) 1272/2008, Annex VI, Part 3, Note N) 区分に該当しない。
生殖毒性	: 生殖器官系に有毒であるとは考えられていない。 催奇形性があるとは考えられていない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: 吸引による危険性はないとされているが、データ不足のため分類できない。
サラシミツロウ	
急性毒性	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。
ステアリルアルコール	
急性毒性	
経口	: 類似品のデータ ラットのLD50値として、>5,000 mg/kg であり、区分に該当しない。
経皮	: 成分データにより、区分に該当しない。
吸入:ガス	: GHSの定義における固体である。
吸入:蒸気	: データ不足のため分類できない。
吸入:粉じん及びミスト	: 成分データにより、区分に該当しない。
皮膚腐食性/刺激性	: 類似品のデータ OECD TG404 うさぎ4h で刺激性無し。区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 類似品のデータ OECD TG405 うさぎで刺激性無し。区分に該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: 成分データにより、区分に該当しない。
生殖細胞変異原性	: 成分データにより、区分に該当しない。(in vitro, in vivo)
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 成分データにより、区分に該当しない。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。
コレステロール	
急性毒性	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

製品の有害性情報	: 情報なし
成分の有害性情報	
白色ワセリン	
生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: 魚類に対し96時間のばく露試験の結果 LC50 > 100mg/Lであり、区分に該当しない。 ミジンコに対し48時間のばく露試験の結果 EC50 > 100mg/Lであり、区分に該当しない。 藻類に対し72時間のばく露試験の結果 EC50 > 100mg/Lであり、区分に該当しない。
水生環境有害性 長期(慢性)	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: 生分解性がある
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

オゾン層への有害性	: 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
サラシミツロウ	
生態毒性	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
ステアリルアルコール	
生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: 魚類に対し利用可能な成分データにより、区分に該当しない。 水生無脊椎動物に対し利用可能な成分データにより、区分に該当しない。
水生環境有害性 長期(慢性)	: 魚類に対し利用可能な成分データにより、区分に該当しない。 水生無脊椎動物に対し利用可能な成分データにより、区分に該当しない。
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
コレステロール	
生態毒性	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が 付着している汚染容器及び包装の 安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、 又はリサイクルに関する情報	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団 体とその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に 従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
--	---

14. 輸送上の注意

国際規制	: 該当しない
国内規制	: 該当しない
特別安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損のないように積み込み、荷崩れの 防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)No.168
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
医薬品医療機器等法	: 日本薬局方

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、新しい知見及び試験等により内容が変更されることがあります。なお、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特別な取扱いをする場合には、新たに用法・用途に適した安全対策を実施のうえで御使用ください。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。